

# 区政 N O W ! (19年8月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

挨拶



全国各地で40度を超える気温が計測され、都内では、夜間になっても30度以上の日が続くなど、多くの方が熱中症により亡くなっています。区民の皆様におかれましては、日中はできるだけ無理をしないで、水分を十分に摂り、不調になったらすぐに涼しいところで休むなど、健康管理に十分ご注意ください。

そうした暑い中ではありますが、区政は休むことなく走り続けています。今号では、その一端をご紹介します。

## 福井県知事が荒川区役所を来訪されました

8月7日(火)に西川一誠福井県知事が荒川区役所を来訪されました。

福井県とは川の手荒川まつりへ県産品を出品していただいたり、NPO法人高齢者クラブの方々が同県の高齢者団体と交流をするなど、いろいろとご縁があります。今回の来訪では、西川知事と両自治体の連携強化について会談し、同県との連携・交流推進プロジェクトチームを設立しました。



9月には荒川山吹ふれあい館に、福井県名産品の一つ「越前水仙」を寄贈していただき、植樹することになっています。

## 中越沖地震において、荒川区が給水活動の支援をしました

7月16日、午前10時過ぎに新潟県中越沖において、マグニチュード6.8の地震



が起きました。震度6弱となった上越市とは災害時の相互応援協定を結んでおり、16日の夜、上越市から給水車の派遣要請があり、その日のうちに給水車と職員を上越市に派遣し、早朝から給水活動の支援を行いました。

その後、見舞金を送るとともに、区役所窓口で義援金を募集し、区職員をはじめ多くの区民の方から頂いた義援金を上越市に送りました。

不幸にも災害に遭われた被災者の皆さまに、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 荒川区地域子育て見守り事業が始まりました

地域の中で孤立しがちな在宅で就学前のお子さんがある家庭を見守るため、8月から民生・児童委員が直接、各家庭を訪問し、子育て応援券を配布しながら子育て関連情報の提供や相談、助言を行っています。

- ・ 対象 満2歳以下の在宅で育児をしている家庭  
(認可保育園、認証保育所、家庭福祉員において保育されている子は除く)
- ・ 内容 子育て応援券の配布 1歳以下は絵本交換券  
2歳児は荒川遊園乗り物券

最近の出来事

## 国際交流高校生サミットが開催されました



8月16日と17日にかけて、海外友好都市のオーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区、中華人民共和国大連市中山区、大韓民国済州市、アメリカ合衆国オレゴン州コーバリス市、シンガポール共和国シンガポール市、マレーシア連邦共和国サバ州コタキナバル市の6都市、国内交流都市の秩父市、福島市、鴨川市、つくば市の4都市と荒川区の高校生、総計31人が参加し

て、「私たちにとっての豊かさ・幸せ」をテーマにサミットが開催されました。

サミットでは、「幸せは他人との共有するものであることを共通認識とし、この成果を各都市に持ち帰り広くアピールする」などの誓いを共同宣言として発表しました。

## 区内商店街活性化のため『しあわせ通り～商店街の歌～』を制作しました

商店街への応援歌として、弦哲也氏に作曲をお願いして、「しあわせ通り～商店街の歌～」を制作しました。

地域の祭や商店街のイベントで活用していただくために、藤川流家元 藤川澄十郎氏に振付を依頼しています。

10月中旬の歌のCDと振付のDVDの完成に合わせ、普及活動を推進しています。



### しあわせ通り～商店街の歌～

作詞 高野政義

作曲 弦哲也

- 1 さわやかな 風が流れる このまちに  
笑顔が集まる 場所がある  
にぎわい 商い いい出会い  
したまち あらかわ 商店街  
元気いっぱい 元気いっぱい しあわせ通り



- 2 夕焼けの 空が広がる このまちに  
みんなにやさしい 場所がある  
いきいき 普段着 心意気  
ふるさと あらかわ 商店街  
声もはずむよ 声もはずむよ よろこび横丁



- 3 あしたへの 夢があふれる このまちに  
いつでも明るい 場所がある  
にこやか なごやか 人の仲  
ぬくもり あらかわ 商店街  
心ふれあう 心ふれあう しあわせ通り